

# リテール部門 (三井住友銀行)



三井住友フィナンシャルグループ  
専務執行役員  
コンシューマービジネス統括部、  
CF決済事業部担当役員

三井住友銀行  
取締役兼専務執行役員  
リテール部門統括責任役員  
大西 幸彦

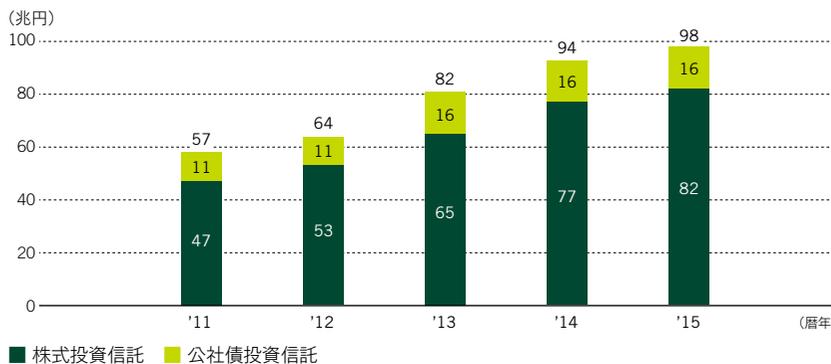
## 2015年度実績

2015年度のリテール部門の連結粗利益は、住宅ローンの利ざや低下に伴う収益減少の影響を受けましたが、運用商品販売の伸長等により、前年度比44億円増の4,815億円となりました。一方、連結業務純益は、連結経費の増加を主因に、前年度比33億円減の983億円となりました。

## 事業環境と今後の戦略

「超低金利環境の長期化」や「貯蓄から投資への動きの加速」、「IoT、特にスマホ普及によるデジタル化の急速な進展」、「大相続時代の到来」、「ライフスタイルの変化」といった環境変化が起こっており、今後もそうした環境は継続していくものと見込まれています。リテール部門では、そうした環境変化を捉えつつ、お客さま起点でビジネスモデルを日々進化させることで、サービスの向上に取り組んでいます。また、SMBC日興証券やSMBC信託銀行といったSMFG各社との協働を進めることで、多様化する個人のお客さまの金融ニーズを捉え、お客さまからもっとも信頼されるNo.1の総合金融サービス業を創り上げていくことを目指しています。

### 公募投資信託純資産額



(出典) 投資信託協会「純資産総額等に関する統計」

### 情報通信端末の世帯保有率の推移

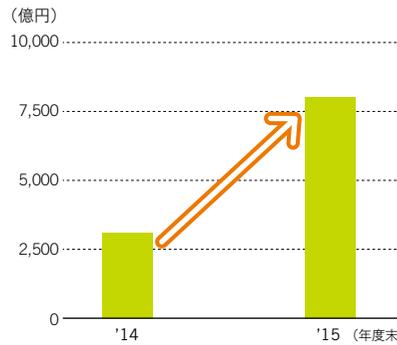


(出典) 総務省「平成26年通信利用動向調査」

## ▶ 銀証連携による預り資産の増加

三井住友銀行とSMBC日興証券のそれぞれの特徴を最大限活かす新しい営業推進モデル(銀証リテール一体化モデル)を全店で展開し、銀証連携による預り資産残高を伸ばしています。

運用商品残高増加額\*

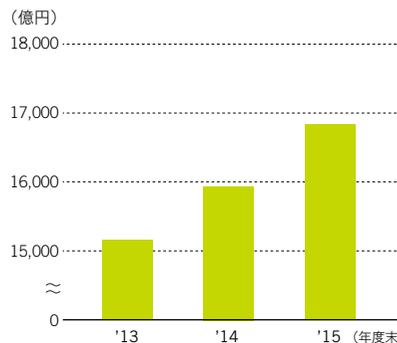


\* 三井住友銀行における運用商品の販売と解約償還のネット金額および、SMBC日興証券における資産導入額(三井住友銀行からの紹介顧客による資産導入額を含む)の合計

## ▶ カードローン(無担保)残高の増加

カードローン(無担保)残高は順調に拡大し、2016年3月末時点での残高(三井住友銀行、SMBCコンシューマーファイナンス、モビットの合計)は、約1.7兆円となっています。今後も、消費者金融市場の健全な発展に貢献すべく、利用者の利便性の向上と、利用者保護の両面を踏まえながら、お客さまのニーズに適切に応えていきます。

カードローン(無担保)残高



## ▶ 「SMBC」ブランド強化

若い世代に向けたブランディングとして、2014年9月にLINE上に三井住友銀行公式アカウントを開設し、友だち数は1,000万人を超えました。それに合わせ、オリジナルキャラクター“ミドすけ”を展開しています。また、スマートフォンのアプリ画面を「シンプル」で「わかりやすく」「親しみやすい」デザインに変更し、お客さまの利便性向上に努めています。

ミドすけ



LINE友だち数  
**1,000万人超**  
(2016年3月末時点)

スマートフォン画面イメージ

